

文京区補助金等チェックシート

所属 区民部区民課

1 補助金の名称等

26年度調査

補助金の名称	不忍通りふれあい館事業運営補助金								
根拠規定等	不忍通りふれあい館事業運営補助金交付要綱								
創設年月	平成	18	年	3	月	経過年数 〔自動計算〕	8年	終了予定年月	
直近の見直し年月			年		月	経過年数 〔自動計算〕			
見直しの内容									
予算科目	款	項	目	大事業		中事業		実施計画事業番号	
	3 区民費	4 区民施設費	1 コミュニティ施設管理費	3 不忍通りふれあい館関係経費		1 施設管理経費			
補助金の種別	<input type="checkbox"/> 奨励的補助 <input checked="" type="checkbox"/> 施設運営補助 <input type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給								

2 補助金の概要

補助目的	不忍通りふれあい館の振興を図り、もって地域の発展、活性化及び産業振興に資することを目的とする。					
補助事業等の内容	不忍通りふれあい館の運営					
補助対象経費の内容	不忍通りふれあい館の事業に要する経費 不忍通りふれあい館の運営に要する経費					
補助事業者等	<input type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input checked="" type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他					
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕 不忍通りふれあい館運営協議会					
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 { 補助率 } <input type="checkbox"/> 定額 { 補助額 }					
	<input type="checkbox"/> 補助単価 { 補助単価 単位 } <input type="checkbox"/> 規定なし <input checked="" type="checkbox"/> その他					
	〔その他の場合は具体的に記入〕 運営協議会から提出される事業計画書と収支予算書を元に補助金を産出 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕					
公募の状況	不忍通りふれあい館運営事務局のみに交付する補助金となっていたため、公募は実施しない。					
実績報告書時における用途の確認方法	<input type="checkbox"/> 領収書(写し) <input type="checkbox"/> 契約書 <input checked="" type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input type="checkbox"/> その他 { }					
補助・単独の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 区単独	負担割合	区	国	都	補助対象者
	<input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)	上乗せの内容・理由				

3 補助金の交付の適否に関する基準〔A:適合している、B:適合していない、C非該当〕

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	A	地域コミュニティのさらなる活性化のために必要な補助事業であり、社会情勢に適合している。
	基本構想、実施計画、個別計画等の区の政策に適合しているか	A	地域活動団体の活動の場を提供する基本構想の趣旨に合致している。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	A	区の直営施設から地元住民による自主運営に切り替えており、運営のためには区の補助は必要である。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	A	必要な人員の配備や施設の維持管理ができなくなるため、利用している区民への影響が大きい。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	C	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	C	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	A	当該施設は、地元住民による要望・自主運営により、より地域に密着した施設で、そのための施設の維持管理をしていくためには補助金の交付が適切である。
	補助金の交付による効果が認められるか	A	根津地域の発展や活性化などの効果が認められる。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	A	必要な人員が配備され、施設の維持管理が適正にされている。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	A	施設利用のほか、祭り等の事業を通して、広く区民に還元されている。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	A	地方自治法、文京区補助金等交付規則等に則った補助制度としている。
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	A	不忍通りふれあい館の適切な運営が行われており、補助目的と合致している。
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	A	会計報告や監査が適切に行われている。

4 交付実績

(件、千円)

項目	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)
交付(見込み)件数	1	1	1	1
決算(予算)額	18,605	18,166	18,151	18,701
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
一般財源	18,605	18,166	18,151	18,701
26年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)	文京区立不忍通りふれあい館運営協議会			

5 課題及び今後の方向性

この補助金を活用し、地域で組織した運営協議会は交付目的を遂行するために日々の施設運営、ふれあい館まつりの実施などを行っている。しかしながら、他団体同様、組織構成の後継者不足による高齢化も見られ、どこまで組織継続が可能かが課題である。